

国民の審判で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2012年11月17日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 国の責任で、国保・介護制度の改善を！

国保や介護、福祉制度問題で自治体との懇談すすむ 自治体でも独自の努力

### 苫小牧社保協キャラバン

苫小牧社保協は、国保や介護保険、高齢者等福祉政策の改善を求めて、自治体キャラバンを開始しました。13日は、白老町と安平町と道社保協の二つのアンケートを基本に、自治体での努力や課題などについて懇談しました。社保協は、冒頭、国に対して改善を求めていることを説明しました。懇談には町民のほか、道社保協の代表も参加しました。むかわ町や苫小牧市との懇談も調整中です。

### 白老町と安平町と懇談



### 国保 一般会計からも繰り入れ保険料値上げ抑える 「窓口負担減免の拡充してほしい」と要望

両町の国保料は、一人当の調定額で140番台です。一般会計から法定外繰り入れもして保険料の値上げを抑えています。安平町では12年間据え置き、白老町では、保健予防活動が給付費の伸びを抑えている一因と説明。

保険料を滞納する方もいますが、納付相談を重視して今のところ資格証明書の発行はゼロ。差し押さえについて、白老町では「国税還付金のみで、生活や営業を脅かすことはしていない」と説明。担当者は「町でも努力しているが限界、国の負担増を、町村会を通じて要望しています」と話します。一方で「負担の公平から対応が求められる」との説明に、社保協から「社会保障制度であり、だれもが利用できる立場で運営してほしい」と要望しました。

参加した住民は「窓口負担が高いので減免制度を拡充してほしい」と要望が出されました。石井社保協事務局長から「隣の苫小牧市では、低所得者も対象で、病院に周知ポスターも掲示している。減免対象は高額療養費の額以下なので自治体負担も少なく、国や道からの補填もあること」を紹介しました。安平町では要綱を作成中とのことでした。

### 介護 保険料値上げは、前回の2倍の問い合わせ 「一般会計からの繰入にペナルティはありません」

保険料は両町とも大きく値上げしました。白老町では、前回の2倍の100件から電話がありました（財政安定化基金の繰入もしています）。安平町では「基金への返済もあり値上げせざるを得なかった」と説明。担当者からは、「国の保険料負担を増やしてほしい」「社会保障・税一体改革も、現場のことが反映していない。みんなで議論することが必要」との意見も出されました。社保協からは、「一般会計から繰入れ、保険料の値上げを抑えているところもある。厚労省も認めている。愛知県では半数以上の自治体が繰り入れている」ことも紹介しました。

### 孤立死予防対策 白老町では、高齢者向け見守り携帯貸与事業も

白老町では、高齢者の安否確認も行っています。配食事業、緊急通報システムに加えて、高齢者向け見守り携帯貸与事業も行っています。携帯電話の歩数計機能を使い、毎朝前日の歩数が町に報告されるシステム。歩数が少ない場合町から連絡。異常が発見され大事に至らなかったもあります（通話料金は自己負担）。安平町では、地域で見守り活動をしています。



### 医労連

### 介護問題で自治体キャラバン

### 自治体も悲鳴



北海道医労連は、介護制度の改善を求める自治体訪問行動をスタートさせました。11月5、6日、当別町、新篠津村、恵庭市、千歳市、月形町を訪問しました。町長や議長も対応する町もあり、関心の高さが示されました。懇談では「介護職員が確保できない」「生活援助の時間短縮は、利用者や現場労働者からも使いづらいとの苦情がある」「今回の改定で保険料が6600円となり、一般会計の繰入れで5000円以下に抑えた。介護保険と国保は町にとって最大の課題」「高齢者が日中独居となる世帯も多く対策が必要」などの意見は出され、自治体の制度崩壊の危機に瀕している実情がわかりました。年内は空知、日高、胆振コースを回ります。（勤医労FAXNEWより）

社会保障の拡充、消費税増税反対 22日札幌で宣伝行動。

22日（木） 12時15分～45分 紀伊国屋札幌本店周辺